

共通開講科目(アオッサ) ふくいを知る・見る・考えるⅡ ～イノベーション編～／福井大学

科目名/提供大学名	ふくいを知る・見る・考えるⅡ ～イノベーション編～／福井大学
科目名(英文)	Knowing, Observing & Reflection on Fukui II ～innovation～
対象学年	原則として、全学年。(但し当該年度卒業予定者は除く)
開講時期	後期:集中講義(2/18～2/21①②③④限目)予定 AOSSAで開講
単位数	2単位
科目区分	選択(地域コア科目群:「ものづくり・産業振興・技術経営分野」)
授業形態・開講形態	講義
担当教員名	吉田 史朗, 他
オフィスアワー	講義の前後に質問等を受け付ける
教員メールアドレス	吉田 史朗(shiryosh@u-fukui.ac.jp)
概要	ものづくりを中心にした福井の産業は、小さいけれどきらりと光る技術や、ビジネスモデルのイノベーションに成功している企業が多くある。それら企業の成功や紆余曲折や、独特の企業文化を紹介し、そこから福井の企業の底力を学ぶ。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	福井には、これまでいろいろな分野で世界をリードするイノベーションを生んできた企業が数多くある。それを生み出してきたこれら企業の独特の文化を知ることにより、仕事への取り組み姿勢・仕事の本質を学ぶことと同時に、それを可能にした地域の風土も理解し、全体として地域思考力が身に付くことを期待する。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくいの特色や強みを理解して、自らの学修に役立てること。 ・多様性、グローバル化の重要性を理解して自分の将来設計に資すること。 ・イノベーションを生んだ背景を学び、主体的に課題を発見し解を見いだす能力を身につけること。 ・普段会えない経営者との直接対話を通して学び、多様な人々との出会いを今後活かすこと。
授業計画・授業内容	<p>(具体的なテーマ・担当教員、授業計画については、現在調整中のため、決定次第、追って公表する。)</p> <p>【参考までに平成30年度の内容を示す。】</p> <p>第1回 福井のものづくり、匠をデザインする 第2回 「ふくいはずごい」福井のイノベーション総論 第3回 起業という選択 第4回 タイで活躍する福井の先輩 第5回 NICCAイノベーションセンター見学 第6回 繊維産業を支える助剤の技術 第7回 ビスコテックスという染色革命 第8回 先端技術研究所&工場見学 第9回 世界のブランドを守るタグの世界 第10回 製造、サービスなどの品質を支えるQCの取組み 第11回 スマートフォンを支えるナノ技術 第12回 マザーマシーンが世界を創る 第13回 衣料から医療へ「下町ロケット2 リアルガウディ計画」への挑戦 第14回 繊維で防災?ジオテキスタイルの先導者 第15回 イノベーションを支える仕組み</p>
授業方法	オムニバス形式の講義とする。講義を担当するのは、県内企業の経営者や技術者の皆さん。担当者によって様々な講義スタイルがあるが、主としてパワーポイント・画像等を用いて講義を行う。
キーワード	イノベーション、人材育成、ものづくり・産業振興・技術経営、持続可能な社会・環境づくり
教科書	資料を印刷し、配布する。必要に応じ、関連図書を紹介する。
参考書	
評価方法・評価基準	各回の小レポートごとの評価を統合し成績を判定する。 なお、1/3以上欠席した学生は不可とする。
関連科目	
履修の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻厳禁 ・2日目に学外での活動があるため、必ず学生教育研究災害傷害保険(学研災)及び学研災付帯賠償責任保険(学研賠)に加入していること。
必要な事前・事後学習	福井県が発行する「『実は福井』の技」をベースに講義を進める。 あらかじめ、テーマに示された内容について、下調べしておく。また講義で示された事例について、まとめるとともに、不明な点を調べ、理解を深める。
その他・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の教員ではない経営者などが授業を担当するので、受講態度や講師と接するときの言葉遣いなどには注意したい。 ・上記授業内容は変更になる可能性がある。